

★鯉川筋、朝の風物詩



鯉川筋で朝の風物詩として地元での話題、近畿産業信用組合の朝礼姿のご紹介。神戸支店の前で職員全員が並び、始められる。

「いらっしゃいませ」

「はい、かしこまりました」

「少々お待ちくださいませ」

「お待たせいたしました」

「有難うございました」

と元気な声が重ねてこぼれ、鯉川の一日が始まる。今では通り行く人々には馴染みの光景となっている。

「震災、長引く不景気の二重苦。まずは挨拶から元氣印を皆様に伝えたい。また、職員皆が一つになる始まりでもあります。」と谷山支店長。

当初は外で声を出し、通り行く人々の視線には恥じらいもあったようだが、「ガンバレ神戸」との思いにそれは一掃され、逆に地域の皆様から「ガンバレ」と励まされ、支店の成績は伸び、高く評価されている。

★新緑の坂道が大賑わい 「第2回鯉川山手アーバンフェスタ」



▲ロックバンド「FREEDOM」のライブ中に矢田神戸市長が訪れ、メンバーもびっくり(写真右)「味娘」がさわやかなライブを(写真左)

▶獅子舞が練り歩き、大道芸人ポントくんは子供たちに人気



▲鯉川筋はクラシックカーパレードのチェックポイントに。山手幹線沿いのライブステーションには、大きな鯉のぼりが泳いでいた

5月10日、神戸クラシックカーパレード「ポントベルレ20003」に合わせて、鯉川筋で「鯉川山手アーバンフェスタ」が開催された。目玉はクラシックカー108台が、新緑の坂道を上っていくポントベルレ名物・鯉川筋通過ではあったが、通りには朝から手作りのおだんごやメロンパン、わたあめや駄菓子などのお店が出店、神戸華僑総会舞獅隊による獅子が各店をまわって華麗な舞いを披露するなど、ポントベルレに負けない熱気がクラシックカーを出迎えた。

ライブステージでは、ヴァイオリンの音色と歌声がさわやかなバンド「味娘」がボサノバやラテンジャズを演奏。また男だらけのロックバンド「FREEDOM」の熱い演奏に子供たちも熱狂。彼らは自分たちで作った鯉川筋の歌も披露し、イベントを盛り上げた。

揃いのグリーンのジャンパーに身を包んだ鯉川山手まちづくり協議会の皆さんが、イベント運営やパレード中の交通整理などを担当、人々の手による暖かいまちづくりが感じられた。麗しのクラシックカーを見ようと集まった人々も、存分にイベントを楽しんだ様子。

★夢見る中年騎士たちが 創った「ドンキエイバレー」



▲木々の中にガーデンレストラン「風舎」の建物が見える



▲ドンキエイ・バレー建設の工事記録は、仲間「ひとり湯川昌明さんが「ドンキエイ砦の冒険」としてエッセーにまとめている



▲石の炉でバーベキューもできる。

▼写真は季節のランチ（1500円）
ディナーはコース3000円〜で、
心こもった料理が売り



▲独自性、継続性、非日常性をキーワードにしたと北野さん

ドンキエイ・バレーは、三宮駅・神戸駅から車で約15分・兵庫区の菊水山ゴルフクラブの奥にある。かつては、ゴルフ場の一部として使われていたこの場所に、想いをもち続けていた北野修三さんは、失業中の同窓生や、園芸師たちの仲間とともに土地を開墾し「大人の癒しのエリア」として再生している。「ドンキエイ・バレー」は、自分たちの夢を追いかける団塊世代の姿を、騎士ドンキエイ・ホーテになぞらえてつけられた。

園内にはアットホームな乗馬サークル「トウインクル」、ゆったりした広さのブルーベリー畑や、ローズ&ハーブガーデンがある。神戸の街や港を見渡す頂上にはガーデンレストラン「風舎」。カントリー調の小さな建物のわきにはスモーク小屋があって、そこで作る自家製のくんせいを使った手作りの料理が楽しめる。

畑や小屋は、ほとんど自分たちの手作り。「できる範囲のことは、多少ヘタでもプロに頼らずに自分たちの手で創ろうとやってきました」と北野さん。五感すべてを肌で感じることでできる非日常の空間である。



★生田川沿い遊歩道に 「處女塚」再建



▲地元住民、世話人会のメンバーが参加して
▼行われた入魂法要



三月十四日(金)生田川の神若橋西岸遊歩道に「大和物語生田川之段 處女塚傳承之地」と標された石碑が建立された。

この石碑は新神戸トンネル二期工事の一環で遊歩道が整備されたのを機に、郷土の歴史を後世に伝えようと地元有志でつくる處女塚再建世話人会(代表増田進氏)が建立した。

もともと生田川周辺は生田の里と称した。布引の瀧や生田の森は万葉人に愛で親しまれ、数々の伝承を語り継いできたが、特に平安中期(九五一年頃)に成立した大和物語には、生田川を舞台にした菟原處女伝説という悲恋の物語が記されている。

はるか昔、生田川の畔に一人の美しい乙女が住んでいた。その評判を聞きつけた二人の若者が求婚したが、二人の容姿、性格があまりにもそっくりな為、乙女は生田川に遊ぶ一羽の水鳥を弓矢で射抜いた者と結婚すると約束するが、二人ともその水鳥を射抜き、思い悩んだ乙女は生田川に身を投げた。二人の若者も後を追って身を投げた。この物語は、実話をもとに編纂されたと伝えられ、藤原定家の和歌や観阿弥の謡曲にも、また近代では、森岡外や菊池寛といった文人たちの作品にも、深く影響を与えてきた。

處女の墓と伝えられた塚など、多くの史跡が現存したそうだが、明治初期の生田川付替や道路拡幅によってことごとく破壊され、史実から消し去られた。しかし、歴史は時を経て後世に語り継がれる。

有馬歳事記

有馬のひとを訪ねてー北村忠敬さんへ有馬小学校校長へ

ホテルが舞い、励ましあう学校 に有馬小学校校長先生の夢

全校生徒38人の神戸市立有馬小学校。校長の北村忠敬先生は来年度を迎える有馬の名物校長。6年前に赴任後、校庭にはホテルの幼虫飼育のための美しい水の流れを造り、町民が参加する文化祭等を提案。いつの間にか有馬小学校は、子供たちだけでなく地域の人々が集う場となった。

北村先生はそれこそが学校の姿だと言う。「もともと学校は寺子屋で、地域の人を作ったもの。学校は地元のものなんです。町の人々が何を願っているかをつかむのが学校の使命だと思う」。兵庫高校卒業後、東京に出て働きながら大学に通った。大学在学中には日中国交を願い、学生友好団とし

て、当時国交のなかった中国へわたったこともある。

小さい頃から合気道、居合など習い、合気道創始者・植芝盛平さんの姿勢に影響を受けた。合気道は素手で相手を押さえる武道。

「これからは戦争ではなくて、平和な時代が来るといって、植芝先生の言葉に影響を受けて、日中国交が夢だった」。東京で10年間、ホテルのボーイや営業、新聞屋

などさまざまな職種を経験し、神戸に戻ってきてから、高校時代の友人の「先生にむいてる」との助言で、30才で教師になった。

一方、有馬小学校では、13年前から環境局の指導でホテルの幼虫・カワニナの飼育と放流を行っている。



北村忠敬校長先生。
ひょうたんの櫛を制作中だったため作業着で

有馬一望・歴史の名湯

HYOE

兵衛
向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)
URL <http://www.hyoe.co.jp>



有馬温泉 月光園

湯麩館

K O R O K A N

TEL (078) 903-2255

姉妹旅館 湯の茶
TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗
いい湯にとっぴり味に集う
ARIMA

SUNNY SIDE UP
TENNIS CLUB
TEL (078) 903-1024



攝津 有馬
徳所財

TEL (078) 904-0651

静寂さにつつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

陵楓閣

TEL (078) 904-0675

町内の中心となる有馬川にも、毎年ホテルが飛び交って観光客を楽しませている。有馬小学校の校庭横にある山からは、飲むこともできるきれいな水が湧き出しており、北村先生はこの水を校庭の周囲に流し、カワニナを育てることを考えた。水車小屋を建てようとも考えた。それから北村先生自身が水の流れや水車小屋の設計図を考え、六甲山から丸太を運び、すべて手作りで、今年10月の完成に向けて現在建設中だ。



野鳥と子供のためにビワ、イチジク、ナシなど児童1人1本38種類の木を植える予定



神戸一輪車競技大会50mスプリントで優勝した炭蔵康光くん



先生の後ろが建設中の水車小屋。実際米をひく。これから茅を葺く予定

有馬をアピールする「ゆかたレディ」募集
有馬温泉観光協会青年部では、有馬温泉でのイベント等で活躍する「ゆかたレディ」を募集している。対象は、ゆかたが好きで、有馬温泉が好きで心身ともに健康な女性ならどなたでも。賞金は、第1位(1名)が10万円。第2位(2名)は5万円！
●募集締切7/12(土)
書類選考を通過した方は、8/2(土)に有馬温泉で行なわれる「ゆかたレディコンテスト」に出場し、結果発表。くわしくはホームページ(ama-onsen.com)で。

て、完成したら小学唱歌を流そうかとも考えている。これはみんな私や町の人の夢なんです。先生も、地域の人も、池の建設に協力してくれた三ツ星ベルトさんや企業の方々も、みんな夢に対して協力してくれる。夢の前には何ら苦労もない。子供たちには、夢や希望をいつも言っているんです。お祭りや、旅行や、何でもいいから、みんなが目を輝かせて取り組むようなことをしたら、いじめなんかはどう間がないですね。だから私はあまりこまごまとは

言いません。病気も事故もなく全員来てくれたら一番嬉しいと、これが校長先生の願いやと言っています。学校では、月に一度、有馬の芸妓さんが教える三味線や、裏千家の茶道などの教室を行なっている。菊を栽培し、相楽園の菊花展に出品したり、秋には町民も参加する文化祭、町をあげての合同運動会を開催するなど、小学校の児童たちも、なかなか多忙な日々を送っている。

日本の伝統
数寄屋造りの館



TEL (078) 904-0701
チェックイン13:00、アウト12:00
ゆっくりとお過ごしいただけます。

雅ただようくつろぎの館

中の坊珠苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーからご家族づれまで
有馬グランドホテル
TEL (078) 904-0181

有馬での会食・宴会は懐石料理・ステーキが楽しめるいろいろ亭「華盛」で!!
(昼5000円〜、夜8000円〜)
有馬温泉 政府登録国際観光旅館
銀水荘別館

51256
北楽

TEL (078) 904-3656(代)

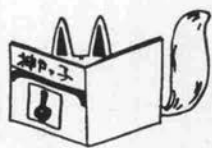
自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

神戸の本棚



大人にならずに成熟する法
サントリー不易流行研究所編

中央公論新社
2000円+税

断じて「育毛剤を使用することではない。脱毛症を発症させてしまっても、皮下組織が健康であれば発毛・育毛は簡単に達成できる。髪に悩むすべての方に役立つ本。」

手話ボランティア入門

谷千春+中井真恵



旬報社
1500円+税

NHK教育テレビ「みんなの手話」の講師であり、手話技能検定協会の理事でもある谷千春先生と、ボランティア活動で「大人と子どものための読み聞かせの会」している中井真恵さんが、手話の基本からボランティア活動にいたるまでわかりやすくアドバイスした本。手話は、子どもたちへの読み聞かせ（手話朗読）から社員研修や接客サービスにいたるまで様々な形で重要視されている。手話を身につけて、ボランティアをはじめよう。

大河奔流

王泰平



奈良日日新聞社
2500円(税込)

さこちなく、ときには不様だが、真摯に身を処してきた、愛してやまない時の集積がある。

壊れゆくとき
さやさや



文芸社
1000円+税

駐大阪大使館総領事・王泰平が戦後の中日関係を振り返り、歴史の裏舞台を語る。特派員・外交官の目を通し、両国の友好発展と世界平和を念じ執筆した人間ドラマは、国交正常化への道のりを証言する。

美男と美女の置き土産

伊勢田史郎編著



編集工房ノア
1800円+税

普通の市民二十二人の『私が愛した人生』四集目となる。ここには多様な体験を生きてきた仲間たちの、

自己の内面、痛々しい傷さえも見据え、銜いのない言葉で綴る詩集。思いや心象を少しでも鮮明に伝える言葉を吟味しようとする、作者の繊細で鋭敏な感受性と、詩作に対する誠実な意志が窺われる。自身もパニック障害などで悩みや苦しみを乗り越えてきた著者からの、心の病に苦しんでいる人達に、『独りぼっちじゃない』というメッセージがこめられている。

過去の踏襲や欧米モデルではない成熟社会を生きる技術のヒント集。混迷する社会状況の中、一筋の明るい光が感じられる。成熟した社会を幸せに生きることの意味を考えるきっかけになる一冊。

発毛・育毛の新常識

東田雪子

髪の毛は、間違ったヘアケアさえしなければ決してなくなることはない。昨今、



日刊工業新聞社
1400円+税

若者の髪のトラブルの原因のほとんどが、シャンプー剤の選択ミスや、必要もないのに育毛剤を使用し続けた結果によるものである。

ヘアケア本来の目的は、もっとも豊かで美しい髪の状態を維持するために、頭皮を常に清潔に保つことであり、

★今月ご紹介いたしました本を抽選の上、読者のみなさまにプレゼントいたします。詳しくは、P12プレゼントメントメイトをご覧ください。

★新神戸オリエンタルホテルアベニュー2Fにギルド&アンティークスクエア



新神戸オリエンタルホテルアベニュー2Fに、四月二十六日、新神戸オリエンタル劇場のあるフロア全体に合資会社／山口デザインアソシエイツ（代表・山口義明）と株式会社福岡ドームの企画設計デザインによる「ギルド&アンティークスクエア」がオープン。

ファッション発信の地神戸らしく、神戸発の伝統とこだわりを持った工房及びアンティークが集まるオンリーワンショップは新鮮だ。

この一画に、神戸出身の画家坂上博章氏の作品展と、ヴェネツィアングラス作家吉田秋雄氏の作品を展示販売する。ギャラリートP O R T B E L L Oも同時に店開き。

デザインにたずさわった山口義明氏は、ウェザリーポートを初め、最近では元町入口角のジャパビルも設計。注目のデザイナー。

「ギルド&アンティークスクエア」には、西洋アンティークT O K I Y A、クロコダイルレザーグッズ専門店のC R C O D I L Eとか、マイセン倶楽部など、一店一店見て味わいのあるお店ばかり。新しい神戸のショッピングゾーンの出現。劇場のお帰りにぜひお立ち寄り。

Un petit café de Kobe 2003 その③

過激なほっこり系カフェ

Sii-on し おん 紫隠

神戸市中央区琴ノ緒町四一―三三七

TEL 078 (251) 1545

営業時間 営業時間 11:30 ~ 22:30

定休日 日曜



信時 哲郎



過 激なカフェ……それがこの店に初めて入った時の印象だ。

そんなことを書くと、キングコングが壁から顔を出しているようなカフェを思い浮かべるかもしれないが、Sii-onの過激さは、もう少し違ったものだ。

既にSii-onを知っている人は、「あのほっこり系カフェの、どこが過激なんだ」と思うかもしれない。が、Sii-onの過激さとは、まさにそこにある。

まずはその立地条件。「琴ノ緒町」と聞いて、はつきりと場所を思い浮かべることのできる人はどれくらいいるだろう。三ノ宮駅の北東にあたる部分。JR三ノ宮駅から徒歩でほんの一分ほどだが、この近辺はカフェ不毛の地どころか、いわゆる商業地ではないから、よほどのことがなければ足を運ぶ人も少ない。

しかもSii-onがあるのは阪急の高架下。ほっこりなごむには、電車の轟音と振動は激しい……インテリアも高架下特有のコンクリートの柱が剥き出しで、表面に白いペンキを塗っただけ。そして照明は蛍光灯。

しかし、普通なら三階建てにしてもいいくらいに天井が高いのに、ロフト席を設けただけ。奥行も、かなり深いにもかかわらず、座席数はわずかに二十六。フロアや家具には木を用い、ソファ席もある。つまりSiionは、こうしたソフト戦略で、「二〇〇%のほっこり系カフェ」になっているのである。いや、もう一つ。店長の村上陽子さん(28)の笑顔も、Siionの過激さを見えにくくする武器だろう。

村上さんが飲食業に携わるのは、実は初めて。カフェを開かないかと知人に薦められたのが昨年の十一月。年末までエステティシャンを勤め、今年二月一日にオープンしたのだというから、驚くほどの「早業」である。もしかしたら業界の常識がよくわからなかった故の大胆さ、過激さであったのかもしれないが、とにかく稀代のアイディア・ウーマンであることだけは間違いない。

「カフェ・ブームはもう、一段落ついたと思ってますし、不況というのもしみて感じています。でも、どうせ食べるんなら、ちょっとしゃれた場所で、暖かく迎えてもらって食べたいという気持ちは、いつの時代も変わらないと思うんです。」たしかに村上さんは、飲食業こそ初めてだったかもしれないが、サービスマンに携わるうちに、カフェの本質的なものを既に掴んでいたようだ。

最近、女性のリビーター客が増えてきているというSiionだが、場所柄なのか、専門学校の学生や近辺で仕事をしている人たちも、よく昼食を取りに来るといふ。夜にはアルコールを出していることもあって、サラリーマンの客も多いらしい。

立地やインテリアが過激だというだけではない。

もしかしたらSiionは、一段落したカフェ・ブームの次の形態の「カフェ」に向かっているかもしれない。

コーヒー 400円 500円 (アイス)
 カフェショコラート 600円
 ガトーショコラ 500円
 オリジナルパフェ 600円
 ハートランド 500円
 日替りほっこりlunch 750円
 カレールンチ 800円



▲高架下に突然現れるカフェ

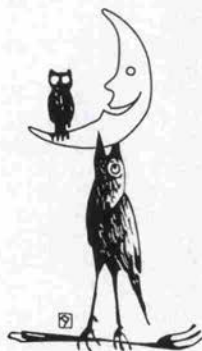


▼ロフト席からゆったりした客席を見おろす



のぶときてつるら
 33年神奈川県横浜市生まれ。神戸山手大学人文学部環境文化学科で宮沢賢治や都市と文学について教えている。

ぴっと・いん



食材にこだわれば 毎日日替りは当たり前 中国料理「樺苑」

シェフの顧生発さんは、家が中国料理店を営んでいたため、家の台所がすなわち厨房だったとか。春日野道の家庭的な店で、一流中国料理が食べられると評判の店。常連客にはレストランのシェフやいわゆる食通のみなさんなど、口の肥えた人が多い。これが食べた、あんなものが食べたいというお客さんの要望を取り入れ、「お客さんとぼくらが一緒に成長してきた店」

という。

こだわるのはやはり食材。エビでもアワビでも日本の産地からいいものを仕入れる。「野菜は、日本の農家は研究熱心だし、日本の野菜が世界一じゃないかな。どんなものでも中華に合うからほくも楽しい」と顧さん。食材は毎日仕入れるので、メニューは当然のことながら日替り。いいものばかりを使うので、値段も格安とはいかない。でも例えば千円のチャーハンでも、新鮮なサクラエビや野菜をたっぷり使ったそれだけの千円なのだ。「値段が値段だし、失敗は許されないから、ふだんから体調を整えている。お金いただきたい。るんだから、お客さんが納得するものを、素直な気持ちでやってるだけ」と顧さんは話す。フカヒレの刺身風ねぎ風味(5千円)、ねぎとチャーシューとくらげの涼排麵(1500円)、基本スープからちがう汁そば(1000円)など一品



顧生発さんと奥さまとふたりでお店をきりもりしている

ものもあるが、おまかせのコース料理が食べ得。ランチコースは3000円、ディナーは料理のみで6000円で、小さなお店でシェフ一人のため、ディナーは予約が必要。

■樺苑

神戸市中央区旗塚通3-1-18
ベルメゾン旗塚1F
☎078127210811

11:30~14:30 / 17:00~21:30
水曜休

ビール好きなら飲みたい 樽生地ビール 「神戸ピアストリート」

日本でまずビール、と言うとゴクゴク飲んでアハ、というイメージがあるが、本場・ベルギーではビールは味わって飲むもの。各地の地ビールや修道院で作られたビールなどがあって、それぞれの味がまったくちがう、楽しめる。

昨年11月に鯉川筋にオープンした「神戸ピアストリート」

ト」オーナーの山口啓吉さんは、イギリスのパブで飲んだビターエールの味にひかれた。その後、東灘にある手作りビールの材料販売店・ビアクラブオブジャパンの社長と出会い、手作りビールの大国・アメリカに出かけ、ローカルビール(地ビール)のとりこに。店では、ビアクラブオブジャパンが地ビールを作っている「ビアクラブ工房」で作られたオリジナルスタイルのビールが飲める。ビール通がやって来る店だ。

ロンドンのパブで飲まれているペルエール(レギュラー)680円・スモール480円)。400年前前からベルギーにあるスタイルで、オリジナルのさわやかな香りとコクがあるヒュー



鯉川筋に面した看板を直に



さまざまな種類の地ビールが樽出して飲める

阪急春日野道駅を北へ。樺苑の花の絵が目じるし。



ガルテンホワイトビール (R680円・S480円)。瓶ビールではベルギーエール「禁断の果実」(800円)、ピーチ味の「ティママンビーチ」(900円)など。フードメニューはビールに合わせた手作り。牛バラのブロックを地ビールで煮込んだ牛肉のカルボナード(1200円)、スモークベーコン(1000円)、お好み焼(650円)も人気。

お昼のランチセットは肉だんご、焼き魚など庶民的で600円。大阪六甲駅を北へ。六甲カトリック教会の十字架を目印に、ひと筋南の住宅街にこのカフェ・レストランがある。とにかくオーナーの岩崎睦代さんが楽しい。開店して約8年間、午前10時より午後10時までの12時間、独りて何十種類のメニューをパンパンこなしている。日曜日、教会帰りのお客さんに大人気なのがランチ、常連さんで満席となる。

★ランチは日替り(950円)。コーヒー370円。ワインもおすすめて、ポルドーワインなど多数そろわ。LEG GUARD



落ち着いた店先

神戸市灘区曾和町3-116
六甲グリーンハイツ1階
☎078-843-1515
ティタイム10:30~18:00
パーティタイム18:00~22:00
(日曜・祝日はティタイムのみ
火曜休)

やわらかいジャズの音色 JAZZ CAFE 「2ND HEAVEN」

■神戸ピアストリート
神戸市中央区下山手通3-15-10
☎078-332-6020
11:30(ランチ) ~ 23:00
第2・4日曜休
(イベント時は営業)

明るい女性オーナーが オアシスのなカフェ 「LEG GUARDS」

彼女がちがった一面の貴重な時間。それは女性としては数少ない、バンドネオン奏者としての練習時間帯となるのだ。神戸のタンゴファンのおじさんたちにとって、睦ちゃんはいどろの存在なんです!彼女の持ち味であるエネルギッシュさと明るさは、周囲を温かくしてくる。

閑静な住宅街の環境の良さ、聴こえてくるバンドネオンの響きは、はん雑な現代社会には、オアシスの風の音のように感じられるのでは。近くにいられたら、ぜひ立ち寄ってほしいお店です。▲文責/大崎泰三▽

JR六甲道駅に近いビルの2階。この店は、積極的PRしたことがないのに、ジャズファンの間では深く静かに浸透している。専門誌にも紹介された、MEISTER・S20の円筒型スピーカーシステムは、生演奏を聴くような自然な再生音、臨場感を味わって、お客さんは満足しているようだ。壁にかかっている「上田素由」の絵にもオーナーの趣味の一端を感じる。このお店は、グループよりひとりで、ジャズのリズムに身をゆだね、時にはオーナーとの会話を楽しみに訪

れる人が多いのでは。それは理由がある。オーナーの佐藤ひろみさんは、キャブテンだった父上(東京商船大102期)の影響で、海・船・南米に強い関心を持っていた。そのころは珍しかった女性船員として客船に乗り組み、南米の美しい港町を訪れ、海、船、そして父上への長年の想いを果たした。次に挑戦したのがホテルへの入社。主に宿泊部門を経験、ホテル業の真髄を知り、人間関係の光と影を存分に体験する。約2年前に、このジャズカフェを開店した。誰にも邪魔をされずに、ひとりでグラスを傾けるのもよし、珈琲も香りて一日の疲れを癒すのもよし。やわらかいJAZZの音色が全身を包み込んでくれるところだけあいです。ときにはママとの会話も期待できるかもしれません。ぜひ一度訪れてほしいお店です。▲文責/大崎泰三▽

■2ND HEAVEN

JR六甲道駅北西徒歩3分
古泉ビル2階(ローソンの上)
☎078-843-15540
16:00~23:00
火曜・第3日曜休



オーナー・佐藤ひろみさんの雰囲気店に現われている



店先には花や緑があふれている



カウンター越しの岩崎さん(左)とおしゃべりも楽しい

イベント スケジュール

2003.06-07

MUSIC

KOBE★ROCK DAY1

6/5(木) 19時
前売2,500円(当日3,000円)
6/6(金) 19時
前売3,500円(当日4,000円)
チキンジョージ
078-139210146



天野 SHO

恒例「コウベ★ロックデー」今年も6月6日ロックンロールの日開催。5日は前夜祭として、京阪神で活躍しているインディーズバンドや、ロックデイズプロデュサーである天野SHO率いるバンド・ARIZONAが出演。6日当日は、ロメル・アマード&REDDOGS、桑名晴子、KAJANAなど今年も強力なユニットが登場する。

キタノサーカス 「カトリック劇場」 インド古典音楽

6/5(木) 19時30分
前売3,500円(当日4,000円)
キタノサーカス(異人館通)
078-1222119294



田中峰彦(シタール)

キタノサーカスが主催する、小さな世界劇場「カトリック劇場」。第4回めは「心を彩る響き」と題し、シタールとタブラの古典音楽演奏会。インド・カルカッタでシタールを学んだ田中峰彦さんと、タブラ奏者・田中りこさんが、自然の流にまかせて即興的に美しい調べを奏でる。

ゆうきじゅん アトリエシャンソン・ラ イフ&一人芝居

6/6(金) 19時
6/7(土) 14時30分/18時30分
2,500円

劇団おもちゃ箱スタジオ(JR住吉駅より南東に徒歩1分)
078-182214355

歌手であり、女優であるゆうきじゅんが、一人芝居に初挑戦。独自の演出で三島由起夫の「近代能学集」とシャンソンを組み合わせ、



ゆうきじゅん

新しい「ゆうきワールド」を打ち立てる。会場は劇団のけいこ場(STUDIO TOYBOX)。目の前で展開する芝居と、生の歌声に触れられるのも魅力。

神戸フロイデ合唱団 サマーコンサート

7/3(木) 19時開演
A席4,900円(座席指定)
B席4,500円(当日座席交換)
神戸文化ホール
神戸フロイデ合唱団
神戸フロイデ合唱団
078-139112613

歌うことが好きな人々が集まるフロイデ合唱団。サマーコンサートはモーツァルトのミサ曲ハ短調K427を公演。指揮・亀井正比古、演奏・関西フィルハーモニー管弦楽団。同合唱団では、12月の「第九」公演に向けて団員を募集している。※チケットプレゼントあり

ウィーン・バレエアカデ ミー初来日公演

7/11(金) 19時開演
S席3,500円 A席3,000円
B席1,500円(前売・当日とも)
神戸国際会館こくさいホール
神戸国際会館PG
078-123013300

芸術文化センターCOO

音楽の都、ワルツの都、ダンスの都：美しきウィーンから若きタンサーたちが来日。第1部では、「海と



芸術の都ウィーンから初来日

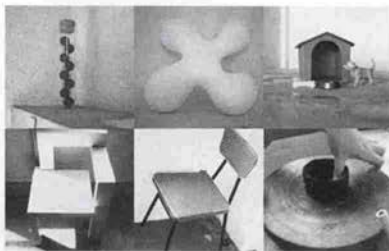
「真珠」等の作品の有名なパ・ド・ドゥ、モダンダンスなどのバレエ・コンサート。第2部はウィーン版「マキータ」。兵庫県立芸術文化センター(仮称)開館に向けてソフト先行事業・ひょうごインビテーションショナル公演。

ART

cap ART fair2003 「アートのお買い物」

6/7(土) 8(日)
11時~20時(入場は19時)
CAP・HOUSE(旧神戸移住センター)
参加費無料

見るだけのアートから「買うアート」「所有するアート」へ。CAP・HOUSEの恒例行事・オープンスタジオ、今年も「アートのお買い物」をテーマに、約30人のアーティストが参加。見る側の私たちは、気に入った作品を見つけたらその期間中有効の「CAPマネー」で作品を買うことができる。作品価格は1CAP(=100円)からおこづかいを持って、アートを買いに出かけよう。



●ライブハウス・スケジュール

■チキンジョージ

TEL.078-392-0146

- 6 (金) KOBE★ROCK DAYVI
7 (土) 松永明子
8 (日) Nuovo Immigrato
9 (月) アコースティックストリートVol.11
10 (火) Deep Drip Vol.3
13 (金) 14 (土) 15 (日)
エレphantカシマシBA
TTLE IN KOBE
18 (水) 有山じゅんじ&内田勤太郎
21 (土) シェリル・ベンティーン
22 (日) アサイラムストリートス
パンカース
23 (月) Sound Schedule
29 (日) オリジナル・ラヴ

■ピアジュリアン

TEL.078-391-8081

- 6 (金) 7 (土) 8 (日)
開店6周年記念コンサート
田原祥一郎(tn)浅井
康子(p)
9 (月) リーメイ(p連弾)
10 (火) 馬場清孝(tn)多久江里
子(p)
11 (水) ゆうさじゅん
12 (木) 田中希美(sp)近藤美香(p)
13 (金) 西本淳(sax)井手智佳子
(p)
14 (土) 左納実子(チェロ)山内尚
子(p)
15 (日) 金澤佳代子(p)
16 (月) 小笠原薫(vn)山内尚子
(p)
17 (火) JAZZ NIGHT 原田紀
子(vo)他

- 18 (水) 大島弥州夫(オーボエ)辻
香織(マリンバ)藤溪優子
(p)
19 (木) 梶栗真紀(vn)
20 (金) 福野桂子(チェロ)鈴木華
重子(p)
21 (土) 奥野香織(p)
22 (日) 辻本恵子(p)
23 (月) 武田有賀(p)
24 (火) 本吉優子(vn)田中靖子
(p)
25 (水) 藤溪優子企画ヘックル
カルテット
26 (木) 高橋栗子(チェロ)近藤美
香(p)
27 (金) 森玉美穂(p)
28 (土) 木村奈美(f)鈴木華重子
(p)
29 (日) 佐藤和宏(c)
30 (月) 小笠原薫(vn)山内尚子
(p)

■Holly's

TEL.078-251-5147

- 12 (木) ウェストウィンスバンド
13 (金) 上田成子トリオ
14 (土) HANNY(vo)小泉ゆうこ
(p)森本良平(b)森本優子
(f)
19 (木) 山口エミ(vo)他
20 (金) 富本容子トリオ
21 (土) Eve Robin(尺八)Boyle
David(b)Ron Mason(g)
松井道朗(d)小出恭正(b)
林幸(vo)
26 (木) 松浦尚子(p)北井義憲(b)
富士正太郎(d)
27 (金) 長井美恵子(p)坂崎祐也
(b)松田Gori広士(d)

- 28 (土) 河野美紀(vo)高橋麗奈
(p)中林薫平(b)田中宏昭
(d)

■萬屋宗兵衛

TEL.078-332-1963

- 1 (日) 井上祐一
4 (水) Copybara(JAZZ)
6 (金) Five Sounds
7 (土) 中村剛司(vo・p)音村幸
伸(b)
12 (木) Miki Hirose Band(JAZZ)
14 (土) Leeast(WORLD MUSI
C)
15 (日) ソル・フォルテシモ(ジャ
ズ・ラテン)
21 (土) Solfa(Pops)
24 (火) 澤井誠(As)阪田敦子(p)
植原裕一(b)未定(Ds)
27 (金) 松尾カルテット
28 (土) じゃすばらがす(Jazz)
29 (日) いたう翔ジャズボーカル
教室神戸ジャズ倶楽部
発表会

■SONE

Tel.078-221-2055

- 1 (日) ロイヤル・フラッシュ・
ジャズバンド
2 (月) 新井雅代トリオ
3 (火) ベティ鞍富トリオ
4 (水) 片岡学カルテット 辛島
寿美子
5 (木) 新井雅代トリオ
6 (金) 大越理加トリオ
7 (土) ジャネットトリオ
8 (日) 鍋島直純カルテット 大
越理加

- 9 (月) ベティ鞍富トリオ
10 (火) 橋本裕キターカルテット
11 (水) ボンビ柿本トリオ
12 (木) 宮野英子トリオ
13 (金) 北荘桂子トリオ
14 (土) 新井雅代トリオ
15 (日) 高岡正人トリオ 北荘桂
子
16 (月) 大越理加トリオ
17 (火) キャンディー浅田トリオ
18 (水) 新井雅代トリオ
19 (木) 古谷充カルテット
20 (金) 辛島寿美子トリオ
21 (土) ベティ鞍富トリオ
22 (日) 原田紀子と水田トリオ
23 (月) 高須賀はつとトリオ
24 (火) 北荘桂子トリオ
25 (水) 岩宮美和トリオ
26 (木) 長谷川元伸カルテット
北荘桂子
27 (金) 北荘桂子カルテット
28 (土) 大越理加カルテット
29 (日) 大塚善章トリオ 大越理
加
30 (月) 北荘桂子トリオ

■T 2 楽屋

TEL.078-242-5888

- 7 (土) 福静&ゆうすけ
15 (日) FUNKY&COOL SOUL
&AFRICAN JAZZ MO
NGO"X"
20 (金) JUN
24 (火) KAJA
27 (金) The Entertainers(演劇)
28 (土) The Entertainers(演劇)
29 (日) 天野SHO SUNDAY B
LUES NIGHT

愛読者チケット プレゼント

- ★神戸フロイチ合唱団
7/3 神戸文化ホール ベア5組
★市民映画劇場7月例会「メルシー!
人生」(7/18・19) ベア3組
★映画館招待券

- パルシネマさんこうえん(湊川
公園) 2名
6/5 13「クライミング・ゲーム」
「ディナーラッシュ」▽6/14 5
25「まほろし」ファイヴ▽14 5
スリ1追想6/26 5 29「さらばお
が愛」霸王別姫「欲望の翼」
6/30 5 7/3「君さえないれば」
金枝玉葉「さらばわが愛」▽7
4 5 15「パティニョールおじ
さん」ダーク・ブルー

- ベレ1ネシネマ(西区) ベア5
組
上映中 6/13「あずみ」▽6/14
14 5 7/4「たぞがれ清兵衛」▽7
7/4 5「バトルロワイヤル」▽7
7/19 5「劇場版ポケットモ
ンスター」

- シネモサイズク(ハーバーランド)
2名
6/7 5「ザ・コア」▽6/上旬
6/7 5「メラニーは行く」▽6/14 5
「スパイ・ソルゲ」▽6/中旬 5
「ミニミニ大作戦」▽7/12 5
「タリミネーター」▽7/19 5
「劇場版ポケットモンスター」▽7/19 5

- 西灘劇場(灘区水道筋) ベア5
組
上映中 6/13「パティニョール
おじさん」西洋鏡・映画の夜明
け▽6/14 5 27「バル」のちよっ
とした心配事 他1本▽6/28 5
7/11「小さな中国のお針子」他
1本

- 応募方法
ハガキかファクシミリで①希望す
るチケット(劇場名)②住所・氏
名③電話番号④今月号の感想を書
いて〒65001001神戸市
中央区下山手通2-11-3 建創ビ
ル4階(FA)X07813331
2795(月刊神戸)子チケッ
ト「プレゼント」係までお送り下さ
い。

ポケッツトジャーナル



★木津川計さん神戸公演

『女と男の歌われ方』

B P W 神戸クラブ第2回例会は、フォーラム・ココと共催で、上方芸能代表、立命館大学教授の木津川計さんを講師にまねき『女と男の歌われ方』歌謡曲の時代と現代』を開催する。今回は県立神戸生活創造センターとタイアップセミナーとなっており、木津川先生は、自ら歌いながら、歌の世界の男女の社会的な評価や位置づけについて解説される。ビジターの方も歓迎。締切は6月17日まで。



木津川計さん

■日時／6月22日(日) 13時30分～15時30分

■場所／県立神戸生活創造センター6F講座・研修室
神戸市中央区東川崎町1-1-3 (J R神戸駅海側・徒歩3分)

■参加費／5000円

■定員／1000名

■一時保育／2歳から6歳までに一時保育あり(要予約)

■申込先／県立神戸生活創造センター4F生活創造プラザTEL078・360・8539 FAX078・360・8536

★福3の会『コンサート・フラメンコギターの調べ』開催

6月7日(土) 臨済宗「福厳寺」本堂にて、コンサートが催される。演奏は

ギター吉川二郎／野口久子。進行は吉沢イサオ、曲目は「めのう岬」「アマポーラの誘惑」など。会費は1500円(同伴の中・高生は500円)。14時からワインタイム、15時からサロン演奏の予定。福厳寺は本誌モダンリビングでおなじみの中川俱子さんの設計されたお寺。コンサートの申込みは(株)アルブランTEL078・822・6161 FAX078・822・4141



福厳寺で行われるコンサート

★松竹座にて『彩の会』公演

関西在住の藤間流の舞踊家有志で構成される『彩の会』公演が、6月22日(日)午後2時より大阪松竹座にて催される。演もくは「難鶴三番叟」、源氏物語宇治

誕生日
ありがとう
運動



論説ポランテア

啓発活動のひとつに啓発紙の発行があります。

季刊と月刊があり運動に関係する情報交換の場でもあります。その月刊紙に昨年から十一名の論説ポランテアによる「わたしの福祉論」として、論説的な記事を毎月掲載しています。

「知力ハンディキャップ問題」をはじめ「社会福祉全般」について、自由に書いていただいています。

論説ポランテアの方は次の方々です。

- ◇磯辺康子さん◇遠藤哲也さん◇木谷宜弘さん◇近藤原理さん◇高城一哉さん◇原上芳彦◇橋本明さん◇藤原治さん◇明路咲子さん◇守屋光雄さん◇八巻正治さんです。都合でお名前を挙げるだけになりましたが、こうした啓発紙ご希望がありましたら、いつでもご連絡ください。
- U 誕生日ありがとう運動本部 〒650・8790 神戸市中央区中町通4・2・11 村上ビルB1 TEL&FAX078・360・1257

十帖より舞踏劇「浮船」。
藤間勲祐悟、藤間莉佳子ほか、藤間流のそうそうたる出演者が顔をそろえる。チケットのご予約は神戸っ子まで。



藤間勲祐悟さん



藤間莉佳子さん

★兵庫県立美術館
開館1周年記念ミュージアムコンサート

6月5日(木) 兵庫県立美術館「芸術の館」・ホワイエにて午後7時より、ソブラノの宮崎京子、バリトンの小村亮三、ジョイントリサイタルが開催される。ピアノ・浅井康子、マンドリン・糸井謙三。曲目はヘンデル「ラルゴ」、マルティネリ「愛の喜び」、メンデルスゾーン「歌の翼に」など。美しい名歌のかずかずをどうぞ。入場料3000円。



宮崎京子さん



小村亮三さん

★鐘紡記念病院100回記念コンサート

明るくおしゃやかな鐘紡記念病院では、ロビーでのサロンコンサートがこの6月で1000回目を迎える。1000回記念コンサートは、6月19日(木) 16時〜17時



1000回目を迎えるサロンコンサート

半、「浜辺の歌」「青い山脈」がみんなで歌えるコーナーもある。くずもちとお茶の屋台や、過去のポスター・写真などの展覧もあり、とても楽しいコンサートになる。問合せは鐘紡記念病院まで。TEL078・681・6111

★「NPOひと粒の真珠運動」はじまる



ひと粒の真珠から

一口1000円からの寄付金を募る

アコヤ真珠は、日本の四季と豊かな海がはぐくんだ自然の芸術。しかし、今やその真珠を生み出すアコヤ貝が生育途中で病気になる、死んでしまったりしている。それは工場や車からでる大量の排気ガスが空気を汚染し、空気が汚れた影響で酸性度の高い雨が流れるため森が枯れ、森から流れるはずの豊かな水が減り、川からの汚れた水が原因で、赤潮などの問題が発

生し、海が汚れ、貝や魚が住みにくくなってきているからである。ひと粒の真珠ができるまでに、こんなにたくさんの方が影響し我々にも同じことが影響している。この環境が少しでもよくなっていくために「NPOひと粒の真珠」はまず広葉樹を植えることから、運動をスタートさせた。広葉樹を植えることにより、栄養ある土から滋養あふれる水が、川から海にたどりつき、豊かな水がアコヤ貝を成育させ美しいアコヤ真珠を生み出すのである。今からでも遅くはない、ぜひこの活動に参加して、できることから一歩ずつ進めていこう。一口1000円から、寄付金を募っている。くわしくは、「NPOひと粒の真珠」<http://www.npo-hito.com>

★ニッターズサロン前川

三宮で小さく光るニット展 KFMのファンタジイなニットデザイナー前川富紀子さんは、月三日間だけのニッターズサロンをオープンし、ファンに好評。

場所は、三宮高架下といっ

でも神戸交通センタービルから50m西から北へ二軒目。小さく光るオリジナルニットのコレクションの展示を初めてファンに好評。本拠地が加古川なので、三宮進出は嬉しい。ニット好きはぜひ足を運んでね。

携帯090・6910・8786 5月31日(月) 6月1日(火) 6月2日(水)と6月28日(土)30日11時〜17時まで



オリジナルニットの数々

★淡路島ペンション『ターニングポイント』ファミリー専用別館オープン

淡路島北淡町のペンション『ターニングポイント』は開業15年。小さな子ども連れでも快適に旅行ができるようになればと、5歳ぐらいまでのお子様連れのファミリー専用ペンションを別館としてオープンした。明石海峡大橋を渡れば阪神間から約1時間で、田んぼのあぜ道や、せせらぎが心地よい小川、虫のいる草むらなど、手付かずの自然に出会える。神戸淡路鳴門自動車道の津名一宮ICを降り、

県道を山の方向へ走ること約10分。森の中のペンションビレッジにある。安全・清潔・快適をモットーに、子育て真っ最中のママ&パパのリフレッシュタイムにいかが。

<http://awai.gr.jp/turning/kids/>



ペンション前広場

花時計



第33回神戸まつり サンバ文化はパワフル

雨だ。雨だ。雨が降るよ！と、十八日のおまつりパレードを皆が心配した。「ぜったい晴れるよ」と言い返していたら、神様は凄い、ちゃんと五月晴れだった。ともかくにも野外イベ

ントは、晴れば大成功に決っている。ありがたやありがたや。

月刊神戸っ子サンバチームも、神戸カーニバルの四年と神戸まつりの三十三年をプラスすると三十九年。よー頑張って踊ってるよね。今年のテーマは『宝石とサンバ』。

フロートづくりは例年より難しいが、神戸は宝石、真珠がファッションなので、スポンサーが大変だったけどと outcomes 上がった。出場番号13総勢百名。加古川から参加する石原奈津子パレードの真赤な衣装が十七名勢揃い。一歳のチビっ子も乳母車でパバと一緒に。

ママは踊り子だからDNAは充分。八十歳で参加を続けるサロンドあいらりの大崎泰三さんは先頭を切って踊る。

ダンスリーダーの安田美佐枝さん。四十二人の愛らしいサンバっ娘たちを育てたメグちゃん。サンバも三世代ですぞ。

フラワロードから三宮本通、大丸前、そして京町筋。千人近いサンバチームの競演はパワフルだ。神戸の元氣はサンバから。きれいなサンバっ娘たちのオーラに、カメラマンたちは近畿から集まる。今年の観客のステキだったこと。ありがとう！ (M・K)

●KOBEP.O.S.T

- ★兵庫県の文化功労賞を眞松融さんが受賞!
- ★中辻悦子さんが神戸新聞社文化賞受賞!
- ★神戸国際会館の館長が、震災復興から再建に努力された柏木健一氏から、灘川博司氏にバトンタッチされました。
- ★(財)サトリ文化財団の黒澤清浩専務理事から、事務局長に四月より浅川社補公会館の館長に冨田征二さんが就任されました。
- ★伊丹三樹産現代俳句大賞受賞祝賀会が、六月八日(日)午後五時より、ポートピアホテル備菜の間で開催されます。(会費一万円) TEL06・64922・19093
- ★六月七日(土)午後二時より、うほらホールで、第三十三回ランドリアンサンバル協会のリサイタルが。主催/関西マンドリン合奏団1500円。主宰/川口優和 TEL078・511・1445
- ★六月六日(土)六時より、ポートピアホテルインポートにおいて、藤井美智子さんが「活き活き」をテーマに第二十九回フレッッシュンバァテイを開催/会費15000円。ピエラ平山のリズ、アルトサクソ山口万里、ウッドベース東ともお申込り TEL078・431・8051/モディメイトミチコ
- ★明日香都さんが、六月二十日(金)芦屋ルサホールで第二十回コンサート。全席5000円。開演十八時三十分。テーマ/スマイル TEL0797・811・1518
- ★六月六日(金)〜八日(日)午前十時〜午後四時「夏」をテーマに、ロクレール作家三浦啓子さんが、ロクレールで、ガレデンパティと展示会。西宮市甲陽園目神山21・12 TEL07998・733・0878
- ★六月二十二日(日)十六時開演/神戸新聞松方ホールでミハル・カニカ&伊藤ルミの4テューオーケストラが。3500円(当) TEL078・3362・7191
- ★ギャラリ島田で五月三十一日〜六月十一日まで岡井美穂の絵と陶造形展が。三日(火)八時半〜。岡井さんの話(500円) TEL078・262・8058



佐本
産科

ママといっしょに



あかちゃん：^{まつり}奥野茉莉ちゃん
(平成14年9月11日生まれ)

パパ：利男さん
ママ：暁子さん

「すくすくと元気に成長して、これからもとびきの笑顔を見せてね。」

★佐本産科・婦人科★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15
TEL：078-575-1024 (病室TEL：078-577-7034)

市バス上沢4 停南スグ

●駐車場完備●

タロットこぼれ話《星》六月の運勢



ローマ数字のXVIIの下一桁の7番、7つの小星に囲まれた大星。

いつの世でも7という数字は幸運を呼び込むものだと考えられてきた。

裸の女性の両手から流されていく水はやがて泉となるほど増えていく。

何事も独占欲をもって取り込むことよりも裸になり全てのしがらみを放棄することで本当の幸せが広がっていくことを意味する。

この世の“物”すべてはかろうじて生きている間の“借り物”なのだ。

たとえどんな財産であろうとあの世には運べないのである。

世界のタロットが120種類
タロット美術館

心の問題・家族・職場・恋愛
運勢カウンセラー 笑生



各駅の神戸歴史ウォーク(5)

六甲道駅

田辺真人



多くの神戸っ子が、関西空港から湾岸線を飛ばして大阪あたりまで来た時、海の彼方に六甲山が見え出すと、ああ帰ってきたと感じるといふ。一方、大阪から転入してきて数年神戸に住んだ人でも、六甲山に対するそういう気持ち的理解しにくいと言ふ。神戸にとつてやはり六甲山は母なる自然であり、この山に抱く独特の感情が神戸っ子を測るバロメーターなのかもしれない。JRの列車からだとも六甲道駅に近づく時の、北側の窓から見る六甲が絶景だと思ふ。西六甲の山々が屏風のように立ちほだかるのだが、神戸から見る六甲山は東西に長くつづく巨大な城壁のようでもある。

しかし、大阪や尼崎から見た六甲の山容は、南北にも相当量感がある。古代、大和の国から大和川沿いに浪速(大阪)に出た人々は、大阪湾のかなたにある山や里を遠望して、ムコウの山・ムコウの川と呼んでいた。漢字が伝来して漢字が当てられると、「向(ムコウ)」山でいいのだが、地名は漢字二文字で表記することになり、ムコウの音に当てた二字で武庫山、武庫

川、武庫郡などと表記され、のちに六甲(ムコウ)山の字でも書かれた。この六甲山(ムコウヤマ)がいつしか誤られて「ロッコウサン」と読まれてしまうと、本来の語意がわからなくなった。漢字の意味から、神功皇后が六つの兜を埋めた山だなどと伝説されるようになってしまったのである。江戸時代に書かれた『撰陽群談』や『撰津志』や「撰津名所図会」が、いずれも「武庫山・一名六甲山」と記していることから、江戸時代までは武庫山が正式な呼び名だったことがわかる。

六甲道駅の近くに來ると、私はいつも悠久の山と人との歴史を感じてしまう。六甲山周辺には、役の行者や法道仙人などが奈良時代以前に開いていた霊場を、弘法大師などが寺院として創建した伝説する古い寺院が多い。これは、奈良時代に政治と癒着して墮落した仏教を改革しようと、平安初期に清浄な山に入った修行僧たちが、山中で日本古来の山岳信仰の行者に出会い、両者が影響し合って、修行のための山岳寺院が出現した仏教の歴史を反映した説話である。明治初めに神戸の居留地にいた外国人が近代的リゾート地として六甲山を開発するはるか以前から、我々の先祖は修行のために六甲山地に登っていた。六甲山地全体が修行場で、十善寺や鷲林寺や神呪寺や塩尾寺や多聞寺などは入山口であり、比較的山奥には再度山大龍寺や摩耶山天上寺があった。山内の険しい岩場は格好の行場で、最高峰の西の雲岩・心経岩一帯や最高峰東の石の宝殿の地がその中心であった。六甲山麓の各地に山中で天狗に会ったという話が伝わっていた。天狗のいた岩場を麓の農民は天狗岩と呼んだ。山中の行者を天狗だと思つたのである。行者銀座とでもいふべき天上寺と大龍寺を結ぶ岩尾根は、今も天狗道と呼ばれている。天狗岩というのは、天狗の鼻のように突き出た岩ではないのである。

中世、戦乱の時代になると、平地を鳥瞰できる急峻



- ① 現在の天上寺
- ② いわれがユニークな天狗岩
- ③ 石屋川

な山頂には城が築かれた。山岳寺院が城として利用される場合もあった。再度山の多々部（ふたたび）城、芦屋の鷹尾山城、布引の滝山城、北区山田の丹生山城などが築かれ、天上寺を利用した摩耶山城の激戦は『太平記』に詳しい。

江戸時代になると山麓の農民も柴刈りや水源の流れの保全など、生活のために入山し始め、山の権利をめぐって激しい山争いも行われるようになった。農民たちは山中の谷を土手でせき止め、溜め池を作った。山中には石の宝殿や芦屋川の弁天岩のような雨ごいの霊場もあった。六甲山地の多くの急流は十七世紀から水車に利用されており、その名残が芦屋川の水車谷、住吉川の五輪場や八輪場、六甲川の水車新田などの地名である。江戸初期には水車は菜種油を絞るのに利用され、やがて製粉にも利用されて元禄時代の灘は大和の三輪と並ぶ素麺の産地になっている。十八世紀半ばから灘で酒造が始まると、山中の水車が良質の酒米精製の支えとなって、灘の生一本を育てた。水車産業の背景に白用の良質な石材があったことも重要である。六甲山の断層面には、本来地中深くにある花崗岩が露出している。六甲山中の「石切り道」は石材切り出しの名残である。切り出された石材は麓の川の土手で加工されて、御影の浜から船で各地に搬出された。その川に石屋川の名がつき、御影の浜から来た石材なので花崗岩を一般に御影石と呼ぶほどになったのである。列車の窓から六甲山が見えた時、近代のリゾート開発の以前に、このような六甲山と関わった先人たちがいたことも思い出していたきたい。

兵庫区歴史花回道ウォーク
清盛の雪の御所跡、千鳥が滝などを訪ね、
烏原堰堤・湊川隧道を見学。

6月21日（土）小雨決行
受 付…13時、スタート…13時30分
集合場所…湊山小学校（市バス「石井橋」停留所東）
参加無料・要申し込み
お問い合わせ…兵庫区役所 代078-5111-2111



たなべ まこと
1947年、神戸生まれ。兵庫高校・関西学院大
学文学部卒業。現在、園田学園女子大学国際文化
学部教授。地域史研究で神戸市文化奨励賞、神戸
市文化活動功労賞を受賞。また、ニュージラン
ド学会副会長や宝塚市教育委員をもつとめる。
『神戸の伝説』『神戸の100年』『ニュー
ジランドの風土と生活』など著書・監修多数。

パロディ「赤鬼」に託されたメッセージ

中右 瑛

信州小布施への私の旅は、北斎センセイの晩年の行動を知るうえで大きな収穫となった。がしかし、ナゾは残った。

まるでスーパーマン並みの北斎センセイの行動。中風を患い、死の直前の高齢でありながら、六泊七日以上もかかる信州小布施へ、果して四度も敢行出来たかどうか。旅行好きとはいえ、何とも不可思議である。

その小布施旅行のおよそ数年前にも、ナゾの旅行を敢行したのである。

天保五年（一八三四）、七十五歳の冬からおよそ一年間、江戸よりおよそ七十キロ離れた相州三浦半島の浦賀に潜居し、名も三浦八右衛門と変名した。あるいは百姓八右衛門、上村仁三郎とも称した。

この間、北斎センセイの行動はナゾを極めた。浦賀に、一体何をしに行ったのかがまったく不明。ここでもスパイ説が登場する。

当時、浦賀は日本中で最も物騒なところ。浦賀沖にはアメリカ船やロシア船が出没し、いつ上陸するか、幕府も警戒し、住民たちも恐怖におののいていた。

鎖国日本に開国を迫ったペリー米航のおよそ十九年前のことである。

北斎センセイは幕府の隠密となっていた、黒船の動勢や民衆の気運を探っていたというのである。

北斎センセイは一年後の秋、江戸に舞い戻り、その直後に世にも不可思議な絵を画いたのだ。

「弘法大師修法図」と題され、タテ百五十穂、ヨコ二米四十穂の巨大な絵である（掲載写真参照）。この絵は、北斎センセイ晩年の大





世にも恐ろしい壮絶のシーンではあるが、経典をかかかって一心に祈る微動ともしない大師の姿が、印象的ですらある。なんと奇っ怪で凄まじい光景であろうか。

さて、この図について、「開国予測図」であるという説をフッタ男がいた。「北斎の隠し絵」(AA出版・一九八九)の著者・荒井勉氏である。荒井氏の説によると、大師を襲う「大鬼」は西洋人、即ちアメリカを象徴しているという。パンツをはいて、まとう着衣の柄は「十字型」。キリスト教の十字架である。

大師の背後の犬は白狼で、日本人を意味しているという。

私は、白狼すなわち日本人説は反対だ。私は、白狼はオロシア(ロシア)であろうと推測する。

アメリカは日本に開国を迫り、背後には大ロシアが牙をむく。大師に見立てられた日本は、いかにすべきか。開国か? 鎖国続行か? 外庄に押され崖っぷちに立つ運命の決断に悩む日本の姿が見てとれるのである。荒井氏は「弘法大師の姿は、一人で闘う葛飾北斎の姿である」と結んでいる。

北斎センセイのメッセージは何か? この北斎センセイの絵から、幕末騷擾の時代が見えてくるのである。

作というだけではなく、開国騷擾の世相パロディーであり、北斎が後世に伝えたいメッセージが込められているというのである。

絵は、ドス黒い暗闇の大画面に、大きな赤鬼が弘法大師を襲う…という衝撃のシーンである。画面イッパイに突出する程に巨大に描かれた赤鬼のいかめしい表情。眼光鋭く、大きな口をあげ鋭い牙をむく。手には長いコン棒、一方の手にはしぼり縄を持って、大師を威喝する。闇夜の天空には新月が青く冴え輝き、大師の背後の白い犬は怯えるかのように吠えしきる。

中右 瑛講演会

「夢二・四つの恋ものがたり」

歌ゲスト・千寿慧(元タカラジェンヌ)

宵待草、すみれの花など大正の抒情歌

平成15年6月22日 午後2時

サンシャインホール

(兵庫県津名郡東浦 Ⅷ07999-7410250)

入場無料(入場整理券必要・希望者はホールまで)

■中右 瑛(なかう・えい)

抽象画家。浮世絵・夢二エッセイスト。一九三四年生まれ、神戸市在住。行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数

みだら夜話 第五回

『智恵子抄』以前

あさき まだら
浅黄斑 作家

絵・犬童 徹



タイトル、ご覧になりました？ 今回は、えらく文学的でしょう。えへん！

薫る風に誘われ、久しぶりに神戸旧居留地を歩いていて、ふっと思い出したことがあります。何かというと、ここの町名です。京町とか江戸町とか、浪花町とか。なにやらイワクがありそうなのに、そのわけが分からない。第一、外国人居留地として造成された一画に、なんでこんな名が？ なんてだろう？ 実は以前から、それが気にかかっています、いつか調べてみようと思いつきながら、ついつい忘れていたのです。

それを思い出してしまった。
つまらぬことを気にするやつだと、おっしゃらないでください。気になるわけは、実は、もうひとつあったんです。

それはともかく、調べてみました。分かりまし

たね。命名されたのは、居留地が町らしく整った明治五年。名づけたのは、初代の兵庫県知事で、居留地開設の責任者だった伊藤博文。昔の千円札の顔だね。東遊園地の西側が伊藤町というのは、その名残らしい。同時に、ああそうだったのか、ともうひとつの疑問も氷解して、にやりとした次第です。

ええとですね。東京都中央区にも浪花町というのがありますが、ここが最初に吉原ができたところ、元吉原です。で、火事で引っ越して新吉原ができますが、吉原五町といって江戸町一丁目と二丁目、京町一丁目、二丁目、それに角町まがからなっていた。そんなことで小生、はしなくも居留地にくるたび吉原を連想したんだね。連想するほうが悪いといわれれば、まあ、そうなんだけどね。

でも、名づけたのが伊藤博文なら、こりゃ、も

う大納得です。伊藤さんといえは、色好みというより、病的なほど女好きですもん。兵庫にやってきて、真っ先にやったのが、福原という遊郭を造った人ですもんね。いえ、別に伊藤さんには恨みは持っていないませんが。で、伊藤さんは、たぶん、こう考えた。異国人が住むこの町に、吉原の名をつけてやろう。そんなところじゃないかな。命名はしたものの、この町名が行政的に使われるのは、居留地返還後のことだから、やっぱり遠慮があったんだな。うん。

話はほんと飛びますが、吉原の角町に角海老という江戸時代から続く老舗があって、この屋号は今もその世界じゃ名門だそう。ともかく明治の頃、この角海老に若き日の志賀直哉や里見弴がせつせと通っていた。のちに直哉はこの時期を「放蕩時代」と、里見は「墨汁五合の時代」と苦々しく振り返っています。墨汁を五合も飲んだくらい、いやな気分 of の時期だったのでしょ。

ちょうど同じ頃、高村光太郎のほうは、京町二丁目の河内楼に熱心に通っています。入れあげているのは、若太夫といって、本人が記すには「モナ・リザの微笑を持った女」だそう。恋敵に木村荘太という文学青年がいて、この勝負、結局は光太郎が負けます。ちなみに荘太の父親は、「いろは」という牛鍋チェーン店を創業した木村荘平で、目標四十八店は達成できなかったが、二十く

らいの店を大いにはやらせた。この人のすごいところは、各店の女将に、三人の妹を除くと、すべて愛人を据えたこと。それぞれに産ませた子供は、合計三十人。このうちには、画家の木村荘八や、作家荘十などもおります。それにしても、明治の男は元気があったんだなあ。

さて若太夫にふられた光太郎は、若太夫への断ちがたい思慕を何編かの詩に託していますが、次に浅草雷門にあったレストラン「よか楼」へ通います。お梅という女給が目当てですが、お梅がほかの客について自分のところへこない、ビール瓶を叩きついたりテーブルをひっくり返したといえますから、よほど、荒れていたんですね。

さすがに、このままじゃ駄目だと感じて光太郎は北海道へ向かいますが、やがて帰京して、のちに妻となる長沼智恵子と知り合います。なんでも、若太夫に面差しが似ていたというから、まだ未練があったのでしょうか。

さて光太郎は、智恵子と結婚後に処女詩集「道程」を上梓しますが、第一番目の詩は「失われたモナ・リザ」です。そんなこんなを知って、この詩を読めば、また違った光太郎に出会えるかもしれません。



■浅黄斑（あさぎ またら）推理作家。一九四六年神戸市生まれ。西神ニュータウンに在住。一九九二年小説推理新人賞、一九九五年日本文芸家クラブ大賞を受賞。日本文芸家協会、日本推理作家協会などに所属するとともに、日本文芸家クラブ関西支部長、「きょうも風さえ吹きすぎる」「ちよんがれ西鶴」「櫻島殺人海流」「トカラ北土殺人前線」など著書多数。

えらいこっちゃん

出石アカル

絵・菅原 洗人



腰が軽いというか、尻が軽いというか、とにかく身の軽い人である。細身である。元気なおじさんである。オヒョイ、こと藤村俊二に似ている。

一度一緒に飲みに行ったことがあるが、一ヶ所に腰を落ち着けてはいない。席が温まる間もなく「つき行こか」であった。

もう70歳に近いが、色気があって気が若く、髪をいつも染めている。しかし手入れが行き届いてなくて、裾の方から白髪が覗いていたりもする。

飲み屋で女の子に「そのオッパイ本物か？触らへんから、いっぺん俺の背中に押しあててみて」と言ったりするが、不思議と厭味がない。浮田さん、笑顔が明るいのだ。

数年前、勤めていた塗装関係の会社で定年になり、あと囑託で残ってくれと頼まれたのだが、大幅な減給を拒否してあっさりとやめてしまった。ところがその会社、後日、この人の人脈での仕事が入らなくなつて、給料考え直すから戻ってほし

いと言つて来たという。しかし彼はすでに、さつさと自分で事業を始めてしまつていた。

よく遊ぶが、仕事も出来たのだ。営業しながら現場もこなし、取引先の担当者をポケットマネーで接待もしていた。会社は彼の評価を誤つたのである。気がついた時には遅かつたという訳だ。

「あいつのコレが、アレでナニになつて、こいつのアレが、ナニでコレやがな」と、この人の話は訳が分からないのだが、親指と人差し指で丸を作つたり、小指を立てたり、親指を突き出ししたり、首を切るふりをしたりと、さかんに指が踊つて、大体分かるのである。

一人で来た時は、一しきり喋つたあと、いつも週刊誌を見ている。まずグラフィアのヌード写真を見て、次にちよつとエッチな読み物を、そはに誰がいようと恥ずかしげもなくページを開いたまま読んでいる。明るいスケベなのだ。

また博突が好きで、財布にはいつも、宝くじや馬券や競輪の車券がいっぱい詰まつている。よく資金が続くものだと思う。

いつだったか、彼女のケータイ番号で買ったナンバーズ宝くじで百万円当たつて、彼女に半分やつたという。気前もいいのだ。

その宝くじの話。

「ナンバーズ宝くじ、毎回買うてるゆうてたやろ。彼女のケータイ番号、俺のケータイ番号、それから車のプレートナンバー。この前、買いに行こ、思てたら急に仕事が入つて、高槻まで行った

んや。帰つて来てから買いに行つても、充分間に合ふと思てたんや。そしたら途中、高速で事故やつつて渋滞やがな。車動きやらへん。結局間に合わんで、その日、買えんかつたんや。そやけど、この前当たつたとこやから、まあ続けては当たらんやろ思てたら、発表見たら当たつたんやがな。ずーつと長いこと買うて来とつてからに、たまたま買えなんだ時に、俺の車の番号が来たんやがな。えらいこっちゃ、二百万やで、二百万。いつも二口買うてたから、四百万円。それから三日ほど寝られるかいな」

この人は、運がいいのか悪いのか。この前当たつて、また当たるところだったのだ。

その浮田さんの最近のドジ話。

「家におる時にケータイがかかつて来たんや。いつもはマナーにしとるのに、鳴つてしても。嫁はんがそばにおつたんやがな。やっぱり女からやつて、ごまかしながら喋りよつたら、女も気がついて、間違った電話のふりして切り。またねバイバイ！」言いよつたんや。俺もつられてついうつかり「バイバイ！」ゆうてしもた。えらいこっちゃがな。」

ホントにこの人の人生、どうなつて行くのやら。当分は「えらいこっちゃ、えらいこっちゃ」で進んで行きそうである。

いずし・あかる 43年兵庫県生まれ。「風媒花」「火曜日」同人。兵庫県現代詩協会会員。詩集「コーヒーカープの耳」(編集工房ノア刊)にて、2002年度第31回ブルーメール賞文学部門受賞。